

第41回 近畿建築祭 和歌山大会

Real Wakayama



フリガナ		連絡先	
氏名		電話番号	
		E.mail又は Fax番号	
建築士会 会員ですか?	はい ・ いいえ	エクスカーション参加の方は①、②を記入ください セッション、近畿あーきてくとVol.31参加の方は名称を記入ください	
所属府県・支部	府・県 支部	第一希望	
CPD番号		第二希望	

スケジュール		参加費
9:00～	受付	3,000円
10:00～12:00	アトラクション・式典・基調講演	
12:00～13:00	昼食	
13:00～16:30	エクスカーション1 和歌山城内散策コース	+1,000円
	エクスカーション2 城下歴史散策コース	+1,000円
	セッション 防災と歴史的建造物-近畿のネットワークを考える-	+500円
	青年部会セッション 近畿あーきてくとVol.31	
	女性部会セッション 近畿の「魅力ある和の空間」パネル展示	常設展示

※ エクスカーション等により参加費へ入場料が加算されます。(天候によりコースの変更の場合あり)
 注意事項
 令和5年12月20日までに申込書に必要事項を記入の上、各府県の建築士会へお申込み下さい
 参加費等のお支払いは所属している各府県の建築士会の指示に従ってください。
 会員外の方は、申込書に必要事項を記入の上、各府県の建築士会又は和歌山県建築士会へ
 お申込み下さい。
 令和5年12月25日以降の取り消し等の場合は返金には対応できません
 参加費には昼食代も含まれます。昼食が不要の場合でも参加費は変わりません
 収集した個人情報参加登録の目的のみに使用され、他の目的には使用いたしません



問い合わせ:(一社)和歌山県建築士会
 TEL073-423-2562
 FAX073-433-2772
 E-mail info@wakayama-aba.jp

第41回 近畿建築祭 和歌山大会



～虎伏山より和歌山の歴史を探る～

人々の活動制限が緩和された今、第41回近畿建築祭『和歌山大会』は徳川御三家紀州の城がそびえたつ虎伏山より和歌山城の歴史をひもときながら昔の城下町の様子や現存する風景などまちの変化も学び歩いて探ります。**Real**なまち歩きで**Wakayama**の魅力を感じていただきまた歴史的建造物を防災の観点より考える内容を企画しております。
是非、この機会に和歌山にお越しいただき紀州を体験して語り合しましょう!

開催日時 **令和6年1月20日(土) 10:00～16:30**

開催会場 和歌山城ホール 小ホール(式典・基調講演・近畿あーきてくとVol.31)
特別会議室(セッション)

和歌山県和歌山市七番丁25番地の1

参加費 ¥3,000円(昼食、お土産付)

アトラクション 伏虎太鼓 演奏 (伏虎義務教育学校吹奏楽部)

基調講演 額田 雅裕氏 (関西大学 非常勤講師)
 大山 僚介氏 (和歌山市和歌山城整備企画課学芸員)
 水島 大二氏 (日本城郭史学会委員)

エクスカーション・セッション

エクスカーション1	和歌山城内散策コース	【定員:50名】
エクスカーション2	城下歴史散策コース	【定員:50名】
セッション	防災と歴史的建造物 —近畿のネットワークを考える—	【定員:50名】
青年部会セッション	青年部会セッション 近畿あーきてくとVol.31	【定員:150名】
女性部会セッション	近畿の「魅力ある和の空間」 パネル展示	【常設展示】



主催 近畿建築士会協議会
 (公社)滋賀県建築士会(一社)京都府建築士会(公社)大阪府建築士会
 (公社)兵庫県建築士会(一社)奈良県建築士会(一社)和歌山県建築士会
 以上(予定)
 後援 和歌山県・和歌山市(予定)

エクスカーションのご案内

エクスカーション① 和歌山城内散策コース

13:00～16:30

参加費 1,000円 定員50名(2班)

和歌山城は徳川御三家のお城として栄華を誇りました。天正13年(1585)、豊臣秀吉が紀州を平定し、弟秀長により築城されました。関ヶ原の戦いの後、浅野幸長が入国し基礎をつくりました。元和5年(1619)徳川家康の10男頼宣が55万5千石を拝領し、紀州藩が成立し、城郭が整備されます。青石の野面積み、打込みハギ、切込みハギなど石垣で築城の時代を感じることができるのも魅力です。大奥から藩主のプライベートな庭に至る高低差のある御橋廊下、そこに現れる紅葉溪庭園は堀の一部と高低差を利用した池泉回遊式庭園です。戦前の藤岡道夫氏の調査に基づき忠実に外観復元された虎伏山の緑に包まれた連立式天守閣からかつての城下をご覧ください。内濠遊覧では水面から和歌山城の雄大さを楽しんで頂きます。



エクスカーション② 城下町散策コース

13:00～16:30

参加費 1,000円 定員50名(2班)

移転した旧伏虎中学校の跡地に完成した和歌山城ホールから出発し、徳川御三家の城内を江戸時代の紀伊國名所図会と比較しながら巡り、重要文化財の岡口門から武家屋敷門長屋に至ります。黒川紀章氏設計の和歌山県立近代美術館には昨年解体された中銀カプセルタワーのカプセルが展示されています。和歌山城の南西角の「扇の芝」はかつての景観の再現を目指し土地の買取りを進めています。追廻門から吹上御門址を経て、和歌山城の外堀(市堀川)に架かる中橋は、明治31年に東海道線桂川に架けられた鉄橋のポニーワーレントラス橋で道路橋として使われています。初代紀州藩主頼宣と共に駿河から移ったお菓子の老舗「駿河屋」に寄り、登録有形文化財「和歌山県建築士会館」を巡ります。江戸から明治・大正・昭和の変化をご覧ください。



セッションのご案内

セッション

防災と歴史的建造物

—近畿のネットワークを考える— 13:00～16:30

和歌山城天守閣は戦前国宝に指定されていましたが戦災で焼失し、昭和33年鉄筋コンクリート造で再建されました。再建されてからすでに65年が経過し文化財としての評価も生まれています。建築士会ではヘリテージマネージャーが地域の未登録の歴史的建造物を調査し、データベースを作成中です。また災害多発時代の中で、歴史的建造物が被災し、価値がわからないまま解体されてしまうこともあります。令和4年「災害時における歴史的建造物の被災確認調査および技術支援等に関する協力協定」が建築士会連合会を含め5団体で締結されました。協定内容を学び、被災した未登録の歴史的建造物の状況を的確に把握し、復旧を支援するための近畿のネットワークを事前に構築するためのセッションです。

プログラム

- ◇独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター
文化財防災総括リーダー 小谷竜介氏
- ◇ネットワークづくりについて 全国HMN協議会近畿ブロック
- ◇和歌山城 見学



青年部会セッション

近畿建築士会協議会青年部会 近畿あーきてくとVol.31 地域実践活動発表会

—地域の未来を担う建築士とは—

13:00～16:30

わたしたち建築人は、魅力ある「ものづくり」を伝えるべく、地域に根差したスケールでの社会貢献活動を重ねています。その事で地域の人々を魅了し、将来の建築人を生むきっかけとなる事を期待し、近畿各地だけでなく日本中で地域実践活動が続けられています。青年部会セッション「近畿あーきてくとVol.31」では、近畿2府4県の青年建築士の職能を発揮した、地域貢献活動の事例発表会を実施いたします。地域の特性に応じた様々な建築士会活動をご紹介しますと共に、青年委員の資質向上と社会貢献意識の向上を目指します。また、第66回建築士会全国大会「鹿児島大会」の青年委員会セッションである地域実践活動発表会における近畿ブロック代表の選考も兼ねております。

女性部会セッション

近畿建築士会女性部会 近畿の「魅力ある和の空間」

10:00～16:30

ライフスタイルが変化する中で、地域の環境に適した伝統的な住まいに暮らす人々が減り続けています。なかでも日本の住まいの中で培われた和室や縁側といった和の空間がなくなりつつあることが危惧されています。このような状況をふまえ、公益社団法人日本建築士会連合会女性委員会では、2016年より「和の空間」をテーマに活動してきました。和の空間をあらためて捉え直し、今後の設計活動、居住環境づくりに活かしていくこと、多くの方々に全国各地に現存する貴重な建築の魅力を広めることを目的として「魅力ある和の空間ガイドブック WEB版全国版」を制作しました。近畿建築士会女性部会では、各府県建築士会女性委員会が「魅力的なもの、これからの居住環境への示唆に富んでいるもの」として推薦する『近畿の魅力ある和の空間』を厳選したご紹介パネルを近建祭に向けて増刷しました。和歌山の会場を彩る、近畿各地の「和の空間」をご堪能ください。